

第1回部会等（だいいっかいぶかいとう）でのご意見（いけん）について

No (ナンバー)	項目 (こうもく)	委員 (いいん)	内容 (ないよう)	第二校案 (だいにこうあん)
1	ハンドブック	湯澤委員 (ゆさわいいん)	障害者の定義（しょうがいしゃのていぎ）について、ホームページに見（み）たものと違う（ちがう）が、都独自（とどくじ）の見解（けんかい）なのか教（おし）えてほしい。川内部会長（かわうちぶかいちょう）より⇒一般的（いっぱんてき）な障害者（しょうがいしゃ）の定義（ていぎ）より広い意味（ひろいいみ）なのか狭い意味（せまいいみ）なのか。後日（ごじつ）事務局（じむきょく）より皆様（みなさま）に回答（かいとう）ください	※湯澤委員（ゆさわいいん）に基本方針（きほんほうしん）に記載（きさい）のある障害者の定義（しょうがいしゃのていぎ）であることを説明（せつめい）し、了解（りょうかい）いただきました。
2	ハンドブック	加藤委員 (かとういいん)	都条例（とじょうれい）が、法改正（ほうかいせい）により同等（どうとう）になるということ、法の部分（ほうのぶぶん）あるいは「はじめに」で記載（きさい）すべき。	はじめに 文言修正（もんごんしゅうせい）しました。 (19ぎょうめ～)
3	ハンドブック	宮川委員 (みやかわいいん)	「障害を理由とする」差別（しょうがいをりゆうとするさべつ）が法の対象（ほうのたいしょう）であるという前提（ぜんてい）がわからないので明記（めいき）すべき。障害当事者（しょうがいとうじしゃ）が障害者（しょうがいしゃ）に、というのも含む（ふくむ）のか。	はじめに・P1 文言修正（もんごんしゅうせい）しました。
4	ハンドブック	関哉委員 (せきやいいん) 川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	<ul style="list-style-type: none"> ・不当な差別的取り扱い（ふとうなさべつてきとりあつかい）や合理的配慮の提供義務違反（ごうりてきはいいりよのていきょうぎむいはん）にならない例（れい）を挙（あ）げることについて、似た事例（にたじれい）が容易（ようい）に見過（みす）ごされないように、記載（きさい）すべきか再検討（さいけんとう）すべき。 ・記載（きさい）する場合（ばあい）は、あくまで個別の状況（こべつてきじょうきょう）を踏（ふ）まえて判断（はんだん）すべきということをしっかり記載（きさい）すべき。 ・真（しん）に本人の同意（ほんにんのどうい）を得（え）ていれば、そもそも例（れい）として挙（あ）げる必要（ひつよう）がないのではないか。 	<p>P13～22 文言修正（もんごんしゅうせい）しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「留意事項（りゅういじこう）」として例（れい）はあくまで例示（れいじ）であり、個別（こべつ）に判断（はんだん）する必要（ひつよう）があることを明記（めいき）しました。 ・各事例（かくじれい）において、障害者本人（しょうがいしゃほんにん）に丁寧（ていねい）に説明（せつめい）して理解（りかい）を得る旨（りかいをえるむね）の記載（きさい）を追記（つい）しました。 ・P13に記載（きさい）のあった電動車椅子（でんどうくるまいす）の搭乗手続き（とうじょうてつづき）の事例（じれい）、P17に記載（きさい）のあった抽選販売（ちゅうせんはんばい）の事例（じれい）について、特殊な事例（とくしゅなじれい）と思（おも）われたため削除（さくじょ）しました。
5	ハンドブック	川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設的対話（けんせつてきたいわ）を行（おこな）って本人の同意（ほんにんのどうい）を得（え）るということを書き込む（かきこむ）か。 ・例示（れいじ）としてふさわしいものか1つ1つ検討（けんとう）が必要（ひつよう）。 	
6	ハンドブック	加藤委員 (かとういいん)	提供違反（ていきょういはん）にあたらない事例（じれい）は参考（さんこう）になるので載（の）せてほしい。	

第1回部会等（だいいっかいぶかいとう）でのご意見（いけん）について

No (ナンバー)	項目 (こうもく)	委員 (いいん)	内容 (ないよう)	第二校案 (だいにこうあん)
7	ハンドブック	川内部会長 (かわうちぶ かいちょう)	環境の整備（かんきょうのせいび）との区分け（くわけ）がわかるような、合理的配慮の提供（ごうりてきはいりよのていきょう）にあたってのチャート図（ず）や手順（てじゅん）のようなものを載（の）せるべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・P18、61 環境の整備（かんきょうのせいび）と合理的配慮の提供（ごうりてきはいりよのていきょう）の違い（ちがい）がわかる図（ず）を掲載（けいさい）しました。 ・P15、23 ケーススタディ集（しゅう）に掲載（けいさい）のあった「不当な差別的取扱い（ふとうなさべつてきとりあつかい）」「合理的配慮の提供（ごうりていはいりよのていきょう）」に關（かん）するチャート図（ず）を掲載（けいさい）しました。
8	ハンドブック	川内部会長 (かわうちぶ かいちょう)	障害者（しょうがいしゃ）とのコミュニケーションにおけるチャート図（ず）を載（の）せるべき。国交省参照（こっこうしょうさんしょう）。	P35～ ご紹介（しょうかい）いただきました「公共交通事業者に向けた接遇（こうきょうこうつうじぎょうしゃにむけたせつぐう）ガイドライン」のチャート図（ず）を掲載（けいさい）しました。
9	パンフレット	加藤委員 (かとういいん)	事業者の文言（じぎょうしゃのもんごん）について、統一（とういつ）したほうが良い（よ）い。事業者（じぎょうしゃ）or民間事業者（みんかんじぎょうしゃ）orお店（おみせ）などをつけるか	「事業者（お店など）」（じぎょうしゃ、おみせなど）に文言修正（もんごんしゅうせい）しました。
10	パンフレット	加藤委員（かとういいん）	条例（じょうれい）を国（くに）に先駆けて（さきがけて）というのは大（おお）きな特徴（とくちょう）の1つではなくなっているかと思う（おも）う。⇒川内部会長（かわうちぶかいちょう）より；広域支援相談員（こういきしえんそうだんいん）や、紛争解決の仕組み（ふんそうかいけつのしくみ）は誇（ほこ）れることだと思（おも）う。	P10 条例（じょうれい）のポイントの1つめは、不当な差別的取り扱いの禁止（ふとうなさべつてきとりあつかいのきんし）・合理的配慮の提供義務（ごうりていはいりよのていきょうぎむ）についての記載（きさい）に変更（へんこう）しました。
11	パンフレット	川内部会長 (かわうちぶ かいちょう)	22ページ新規（しんき）ページの不当な差別的取扱い（ふとうなさべつてきとりあつかい）の説明（せつめい）について、「障害を理由（しょうがいをりゆう）として」に文言変更（もんごんへんこう）すべき。	P10 内閣府（ないかくふ）のリーフレットを参考（さんこう）に文言修正（もんごんしゅうせい）しました。P22には障害者（しょうがいしゃ）とのコミュニケーションにあたっての記載（きさい）をまとめました。

第1回部会等（だいいっかいぶかいとう）でのご意見（いけん）について

No (ナンバー)	項目 (こうもく)	委員 (いいん)	内容 (ないよう)	第二校案 (だいにこうあん)
12	パンフレット	加藤委員 (かとういいん)	不当な差別的取扱い（ふとうなさべつてきとりあつかい）の学校の事例（がっこうのじれい）について、公共交通機関等（こうきょうこうつうきかんとう）に変更（へんこう）でもよいのではないか。	P10 入学拒否等（にゅうがくきよひとう）については、教員向けの事例（きょういんむけのじれい）であるため、交通の事例（こうつうのじれい）に変更（へんこう）しました。
13	パンフレット	川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	障害（しょうがい）を理由（りゆう）とせず、本人の能力（ほんにんののうりょく）を見（み）て入学（にゅうがく）を判断（はんだん）するようなポジティブな書き方（かきかた）でもよいのではないか。	
14	パンフレット	加藤委員 (かとういいん)	共生社会の実現（きょうせいしゃかいのじつげん）に向（む）けたという書き方（かきかた）に違和感（いわかん）をもった。⇒川内部会長（かわうちぶかいちょう）：間（あいだ）に一文（いちぶん）いれてはどうか。	P23 文言修正（もんごんしゅうせい）しました。
15	パンフレット	川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	合理的配慮の提供の説明（ごうりてきはいいりよのていきょうのせつめい）について、責任（せきにん）や費用（ひよう）が重（おも）すぎない範囲（はんい）という記載（きさい）は要修正（ようしゅうせい）。	
16	パンフレット	工藤委員 (くどういいん)	合理的配慮の提供（ごうりていはいいりよのていきょう）の文言（もんごん）は、一方的（いっぽうてき）に伝（つた）える印象（いんしょう）があるので、話し合い（はなしあい）をする旨記載（むねきさい）してほしい。 同じ障害（おなじしょうがい）でも人（ひと）によって希望（きぼう）することが違（ちが）うので、それを記載（きさい）してほしい。	P11 内閣府（ないかくふ）のリーフレットを参考（さんこう）に文言修正（もんごんしゅうせい）しました。P22には障害者（しょうがいしゃ）とのコミュニケーションにあたっての記載（きさい）をまとめました。
17	ハンドブック	川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	「第5（だいご） 障害特性（しょうがいとくせい）について」の各障害（かくしょうがい）の医学（いがく）モデルの説明（せつめい）が事業者等（じぎょうしゃとう）にとってどれほど必要（ひつよう）なのでしょうか。どんなに区別（くべつ）があっても、事業者（じぎょうしゃ）の対応（たいおう）の基本（きほん）をきちんと書（か）いておく方（ほう）が重要（じゅうよう）だと思（おも）います。	<ul style="list-style-type: none"> 事業者（じぎょうしゃ）にとって必要（ひつよう）でない場合（ばあい）もあるかと思（おも）いますが、当部署（とうぶしょ）としては、その医学的な説明（いがくてきなせつめい）も含（ふく）めて啓発・周知（けいはつ・しゅうち）したいと考（かんが）えております。 P71～「主な対応（おもなたいおう）」についても、事業者（じぎょうしゃ）が留意（りゅうい）することでないことは削除、修正（さくじょ、しゅうせい）しました。
18	パンフレット	川内部会長 (かわうちぶかいちょう)	やさしい日本語（にほんご）を意識（いしき）しているのであれば、パンフレット全体（ぜんたい）の表現（ひょうげん）を見直す必要（みなおすひつよう）があると思（おも）う。	1つ1つの文章（ぶんしょう）を平易（へい）にするように修正（しゅうせい）しました。

第1回部会等（だいいっかいぶかいとう）でのご意見（いけん）について

No (ナンバー)	項目 (こうもく)	委員 (いいん)	内容（ないよう）	第二校案（だいにこうあん）
19	パンフレット	川内部会長 (かわうちぶ かいちょう)	4コマ漫画（まんが）の※について、視覚障害（しかくしょうがい）のある人（ひと）に伝（つた）えるという意向（いこう）があるものとする、これ以降（いこう）の漫画（まんが）の説明（せつめい）もそれを意識（いしき）して状況説明（じょうきょうせつめい）を丁寧（ていねい）にする必要（ひつよう）があるのでは？	ストーリー的（てき）に詳（くわ）しく記載（きさい）しました。
20	その他（その た）	宮川委員 (みやかわい いん)	様々（さまざま）の障害者差別（しょうがいしゃさべつ）を考（かんが）える上（うえ）で、これからその障害（しょうがい）に特化（とっか）した事項（じこう）や差別事案（さべつじあん）などが出（で）てくるかと思（おも）います。それを解消（かいしょう）したり広報（こうほう）したりするうえで、私（わたし）は視覚障害（しかくしょうがい）に関（かん）しては理解（りかい）をしている。ただ 他の障害（たのしょうがい）のことは解（わか）らないことが多（おお）い。この会（かい）には少（すく）なくともさまざまな障害当事者（しょうがいとうじしゃ）が出席（しゅっせき）をしているかと思（おも）う。その方々（かたがた）にその障害の特性（しょうがいのとくせい）や、苦労（くろう）、種類（しゅるい）などを少し説明（すこしせつめい）していただけると、より会議（かいぎ）に入（はい）りやすいのかなと思（おも）った。	※皆様（みなさま）に共有（きょうゆう）させていただきます。事務局（じむきょく）としても、各委員（かくいいん）から補足（ほそく）いただけますと大変勉強（たいへんべんきょう）になりますので、ご検討（けんとう）どうぞよろしくお願い（おねがい）します。